

留学生・日本人学生の 共修教育における 大学と地域の連携

日本語教育をはじめとする留学生教育の分野では、「日本」を知る・学ぶという観点から、「地域」が古くから教育資源として活用されてきました。近年では、サービス・ラーニングということばに代表されるように、学外との連携・協力とそこでの学びの拡がり・深まりが一層重視されるようになっていますが、この傾向は、大学における汎用的スキル育成の重要度が高まるなか、今後、ますます強まると考えられます。しかしながら、地域との連携には、さまざまなレベルでの調整が必要とされるのはもちろんのこと、個々の学生の気づきや学習効果を最大限に高めるために、事前の綿密な計画・準備が求められます。本シンポジウムでは、留学生・日本人学生の共修授業における地域との連携の意義・課題・可能性を、参加者のみなさんとともに考えます。

とき： 2019年1月26日（土）10:00 ～ 受付開始

ところ：北海道大学学生交流ステーション（旧国際連携機構）1階大講義室 111

アクセス：<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>

プログラム：

講演（10:30～12:00）

◆ 社会参加を支援するためのサスティナブルな日本語教育と産学官連携：夜間中学・介護施設・刑事施設での共同実践から

宮崎里司氏（早稲田大学大学院日本語教育研究科・教授）

実践報告＋全体ディスカッション（13:00～16:00）

① 地域における留学生交流事業の成果を町づくりにつなげる試み—C町の取り組みから—
式部絢子氏（北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部・非常勤講師）

② 地域をフィールドとするプロジェクトワークにおける学習者の学びと地域貢献—旧豊川村での文化誌作成プロジェクトを例に

平田未季氏（北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部・准教授）

③ ローカルとグローバルの交錯から生まれる学び—地域連携による共修授業の可能性と課題—
山田直子氏（佐賀大学国際交流推進センター・准教授）



事前申込：<https://goo.gl/forms/3CI7ZkEOR0h42k7b2>

人数把握のため、参加を希望される方は、1月18日（金）までに事前申込をお願いいたします。

問い合わせ：青木麻衣子 maoki [at] oia.hokudai.ac.jp（北海道大学高等教育推進機構・准教授）

※ [at] は@に置き換えてください。